

【地デジフルセグ対応】10.1インチ  
ポータブルDVDプレーヤー

商品型番 : DP-101F



この度は「【地デジフルセグ対応】10.1インチ ポータブル  
DVDプレーヤー | DP-101F」をお買い上げいただき、  
誠にありがとうございます。  
ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。

---

この説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。  
この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## ○目次

安全上のご注意	3～5
ディスクについて	6～8
セット内容を確認する	9
各部の名称	10～11
電源の接続	12
外部機器との接続	13
充電する	14
リモコンについて	15～17
DVDを再生する	18～20
CDを再生する	21
SDカード／USBメモリーの読み込み	22～23
音楽ファイルの再生	24
静止画像の再生	25
メディア／ファイルの再生について	26
CDをSD／USBに録音(コピー)する	27
機能設定	28～30
地上デジタル放送を視聴する	31～36
ディスプレイ部の位置調整	37～38
車載用ケースについて	39
故障かな？と思ったら	40～42
主な仕様	43
保証とアフターサービス	44

## ○安全上のご注意

※電気製品は、正しく取り扱うことで安全にお使いいただけます。ご使用前に次の注意事項をよくお読みになり、必ずお守りください。

※注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を示すために、「警告」と「注意」に区分しています。



### 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

#### ■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



△ の記号は「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。



○ の記号は「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。



● の記号は「しなければならない行為」を示します。



#### 万一、異常や故障が発生したときはすぐに使用をやめてください

次のようなときは、そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本体の電源ボタンで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは総発売元・株式会社クマザキエイムに修理をご依頼ください。

- 煙が出ている、変なにおいや音がする（異常状態）  
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店もしくは総発売元・株式会社クマザキエイムに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- 本機の内部に水などが入った
- 异物が本機の内部に入った
- 映像や音が出ないなど（故障状態）
- 落としたり、キャビネットを破損した

# ○安全上のご注意

## ⚠ 警告

### 電源について

#### ■電源コード接続時の注意

次のことをお守りください。誤った使い方をすると、発熱などにより火災の原因となります。

- 電源プラグはコンセントへ確実に接続する。
- 電源コードは束ねたまま使用しない。
- たこ足配線はしない。



#### ■電源コードを傷つけない

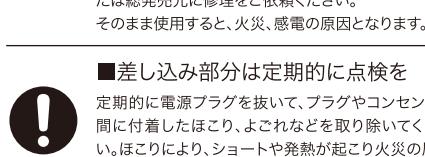
無理な使いかたをすると電源コードが破損しますので、次のようなことはしないでください。

- 電源コードの上に重いものを乗せる。
- 途中でつぎ足したりなどの加工する。
- 無理に折り曲げる。
- 傷を付ける。
- ねじったり、引っ張ったりする。
- 熱器具に近づける。



電源コードが傷んだときは、お買い上げの販売店、または総発売元に修理をご依頼ください。

そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。



#### ■差し込み部分は定期的に点検を

定期的に電源プラグを抜いて、プラグやコンセントの間に付着したほこり、よごれなどを取り除いてください。ほこりにより、ショートや発熱が起こり火災の原因となります。



#### ■電源電圧100V以外で使用しない

表示された電源電圧(AC100V)以外の電圧で使用しないでください。火災感電の原因となります。



#### ■国外では使用しない

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。



This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.



#### ■雷が鳴り出したら

電源プラグには絶対に触れないでください。感電の原因となります。

接触禁止



#### ■分解しない

本機を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となります。内部の点検、調節、修理は、お買い上げの販売店、または総発売元にご依頼ください。

### 使用方法・設置



#### ■本機の上に水などの入った容器を置かない

内部に水などが入った場合、火災、感電の原因となります。



#### ■ぬらさない

- 本機をぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
- 風呂場、水辺、雨天の中などでは使用しないでください。



#### ■異物を入れない

通風孔やディスクトレイなどから、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。(特に小さなお子様にはご注意ください。)火災、感電の原因となります。



#### ■通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機の後部などに通風孔があり、次のような使い方はしないでください。

- 本機をあお向けや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に置く。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置く。



#### ■壁にぴったりつけない

本機の設置は、壁から10cm以上の間隔をあけてください。また、他の機器との間は少し離してください。

ラックなどに入るときは、本機の天面および背面からそれぞれ10cm以上のすきまをあけてください。すきまがないと、内部に熱がこもり火災の原因となります。



#### ■本機の通風孔に物を入れたり、落としたりしない

火災や感電の原因となります。

### ■電源プラグを抜くときの注意

- ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止



#### ■設置場所に注意

- 湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。



禁 止

#### ■不安定な場所に置かない

不安定な場所、棚などに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁 止

#### ■本機の上に重いものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、本機の上に乗らないでください。



電源プラグを抜く

#### ■持ち運びの注意

ディスクを取り出して電源を切り、外部接続をすべて外してからおこなってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



指をはさまれないよう注意

#### ■ディスクトレイに手を入れない

けがの原因となることがあります。  
(特に小さなお子さまにはご注意ください。)



禁 止

#### ■変形やひび割れしたディスクは使用しない

変形、ひび割れ、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

また、セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるディスクも使用しないでください。

## ⚠ 注意

### ■音量に注意

電源を入れる前に、接続しているアンプなどの音量を最小にしてください。また、音量の調節は音量レベルを確認しながらおこなってください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



### ■他機器との接続について

テレビ、ビデオ、オーディオ機器などを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。電源を入れたまま接続すると、感電、けがの原因となることがあります。



### ■電磁波の発生する機器に近づけない

携帯電話、テレビやモニターに近づけない。電磁波のためにテレビにノイズが発生し、画面のチラツキや携帯電話によるノイズの影響が生じることがあります。



### ■長時間使用しない場合やお手入れの際の注意

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。



### ■乾電池(リモコン用)使用上の注意

乾電池の使い方を誤ると、電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。次のことをお守りください。



- 単4形乾電池以外は使用しない。
- 極性(+と-)に注意し、表示通りに入れる。
- 種類の異なるものや、新旧の電池を混ぜて使わない。



- 電池を充電、加熱、分解したり、火や水の中に投入しない。ショートさせない。
- 長期間(1ヶ月以上)使用しないときは、電池を取り出してください。



もし、液もれが起きたときは、電池ケースについた液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

# ○ディスクについて

## 再生できるディスクの種類

- 本機は以下のディスク及び音楽ソースに対応しています。記録方式によっては再生できない場合もあります。
  - ・DVD（片面／両面）（一層／二層）
  - ・VCD・CD・CD グラフィックス

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

※CD-R・CD-RW・DVD-/+R・DVD-RWに記録されたディスクの再生は、ディスクの品質、記録状態、録音状態、録音環境により再生できない場合があります。

※コピーガード付きのディスクは再生できない場合があります。

### ●JPEGの再生

- ・JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式の一つです。本機では、CD-R・CD-RW・CD-ROMに記録されているJPEGファイルを再生することができます。  
(記録方式によって再生できない場合があります。)

・ISO9660レベル1・レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張子フォーマットに準拠して記録したディスクを使用してください。

・JPEGファイルには、“.jpg”“.JPG”的拡張子がつきます。

### ●MP3の再生

- ・MP3とは、MPEG1オーディオプレーヤー3という形式で圧縮した音楽データです。
- ・ISO9660レベル1・レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張子フォーマットに準拠して記録したディスクを使用してください。
- ・可変ビットレートには対応していません。
- ・“mp3”または“MP3”的拡張子がついていないファイルは再生できません(拡張子とは、OSやアプリケーションソフトで管理しているファイルの種類をあらわす文字です)。

### ●本機で再生できないディスク

- ・本機のDVDプレーヤーではDVD-ROM・DVD-RAMは再生できません。

### ●コピーコントロール(著作権保護技術付)CD

- ・本機のDVDプレーヤーでは音楽CD企画に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証はできません。

## ディスクやパッケージのマークについて

DVDディスクやパッケージには下の表のようなマークが表示されています。それぞれのマークはディスクに記録されている映像・音声の数や使える機能を表しています。(DVDによっては機能が使えても、それらのマークが表示されていないものもあります。)

マーク	意味
	音声が記録されている数を表します。例えば数字「2」の場合、2種類の音声(英語/日本語など)が記録されています。
	字幕の数を表します。例えば数字が「2」の場合、2種類の字幕(英語/日本語など)が記録されています。
	アングルの数を表します。DVDでは、角度(アングル)の異なる複数のカメラで撮影したシーンを、好みのアングルを選んで再生できるディスクがあります。
 ピクタサイズ シネマスコープサイズ	選択可能な画像アスペクト比を表します。映すテレビがワイドテレビか普通のテレビによって、画像が切り替えられるものがあります。
	BD/DVDでは、国ごとに割り当てられた地域番号(リージョンコード)が定められており、BD/DVDソフトに表示されている地域番号(リージョンコード)と一致しないと再生出来ません。本機のリージョンコードはBDの場合「A」、「2」または「ALL」のDVDを本機で再生することができます。

## ■ディスクの取扱いと保管

### ケースからの出し入れは

センターholダーを押さえ



再生面に触れないように  
持って取り出す。

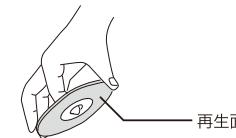
印刷面を上にして…



上から押さえて入れる。

### ディスクの取扱いかた

- ・再生面には手をふれないでください。



### ディスクの保管のしかた

- ・直射日光の当たる場所や、温度の高い場所、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
- ・ディスクは必ずケースに入れて保管してください。

### 本機を持ち運びするときは

- ・ディスクを必ず取り出してください。
- ・入れたまま持ち運びすると、ディスクに傷をつけたり、故障の原因になります。

## ■ディスクのお手入れのしかた

- ・ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像のみだれや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。



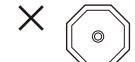
必ず内側から外側へ

- ・シンナー、ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーや静電気防止剤などは使用しないでください。ディスクを痛める原因となります。
- ・本機の近くでヘアースプレー・加湿器を使用しないでください。レンズがくもったりすることがあります。

## ■ディスクについてのご注意

- ・ディスクに紙やシールを貼らないでください。また、セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がしたあとがあるディスクは使用しないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ・ハート形や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

(特殊形状ディスクの例)



- ・ディスクが正しい位置に置かれていないと、ディスクに傷をつけたり故障の原因になることがあります。
- ・ディスクに傷、指紋、ほこりなどがついていると再生できないことがあります。
- ・再生中、近くに置いたテレビに色ズレを生じたり、ラジオに雜音が入る場合は、本機と他の機器とを離してください。

## 【コピーガード付きCD再生について】

CD規格に準拠しない「コピーガード付きCD」などのディスクについては、本機では再生できない場合があります。CDを再生する際には、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージの注意文をよくお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。なお、CD規格に準拠しないディスク再生時にのみ支障がある場合、詳細についてはディスクの発売元にお問い合わせください。

## ●ディスクについて

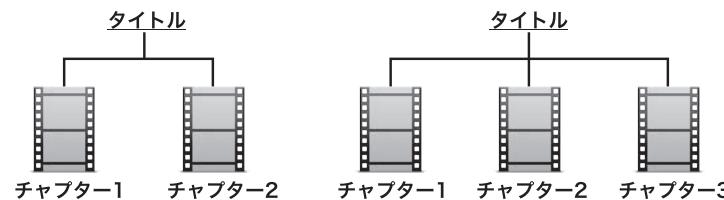
### ■ディスクの構成について

#### 【DVDディスクの場合】

DVDディスクの内容は「タイトル」と「チャプター」と言う単位に分けられて構成されています。

●**タイトル**とは：一般的にDVDビデオの中に複数のプログラム（映画等）が収録されている場合、各プログラムが「1 タイトル」となります。

●**チャプター**とは：タイトルを場面ごとに区切ったものが「チャプター」となります。



#### 【CDの場合】

CDの内容は「トラック」と言う単位に分けられて構成されています。

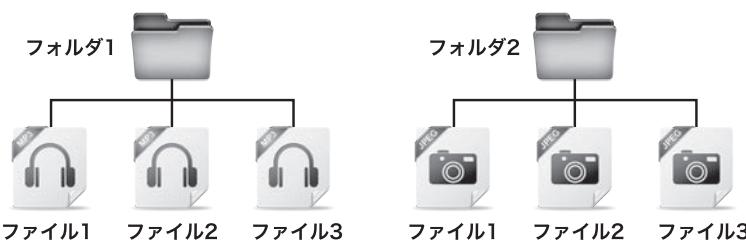
●**トラック**とは：一般的に CDの中に複数の音楽が収録されている場合、各曲ごとが「1 トラック」となります。



#### 【MP3/JPEGファイル(CD-R/RW)の場合】

MP3/JPEGファイル形式のデータは「フォルダ」と「ファイル」と言う単位に分けられて構成されています。

●**フォルダ**とは：複数のファイルをまとめたものが「1 フォルダ」となります。



※一部のDVDやCDにはタイトル・チャプター・トラック構造を持っていないものもあります。その場合はスキップ等の機能はご利用になれません。

## ●セット内容を確認する

※箱を開けたら必ず以下の物が入っているか、確認してください。



上記以外の付属品：●取扱説明書 ●リモコン動作確認用電池 ×2

### 【B-CASカードについてのご注意】

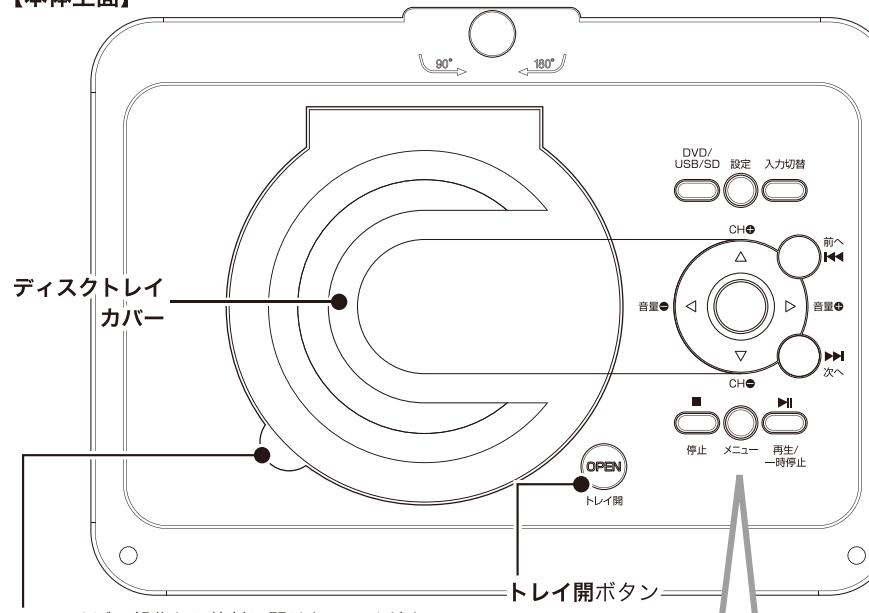
開梱時のB-CASカードは上の画像の様に封をされています。一度開封されたものはB-CAS社との契約上、弊社では一切の返品・交換が出来ません。  
ご不明な点はB-CAS社にお問い合わせ下さい。



●B-CASカードに関するお問い合わせ先  
(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ B-CASカスタマーセンター  
TEL : 0570-000-250

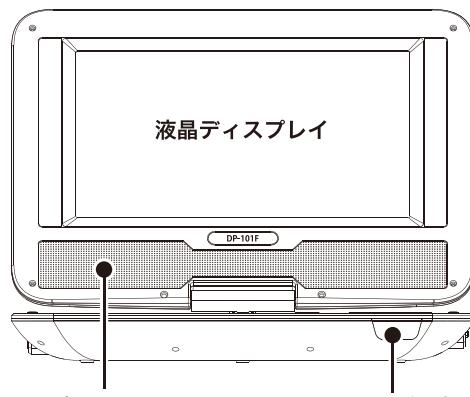
# ○各部の名称

【本体上面】



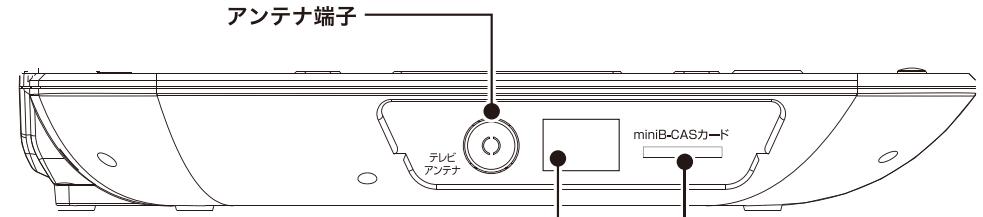
※このくぼみ部分から絶対に開けないでください。  
閉まらなくなる等の不具合が発生します。

【本体正面】



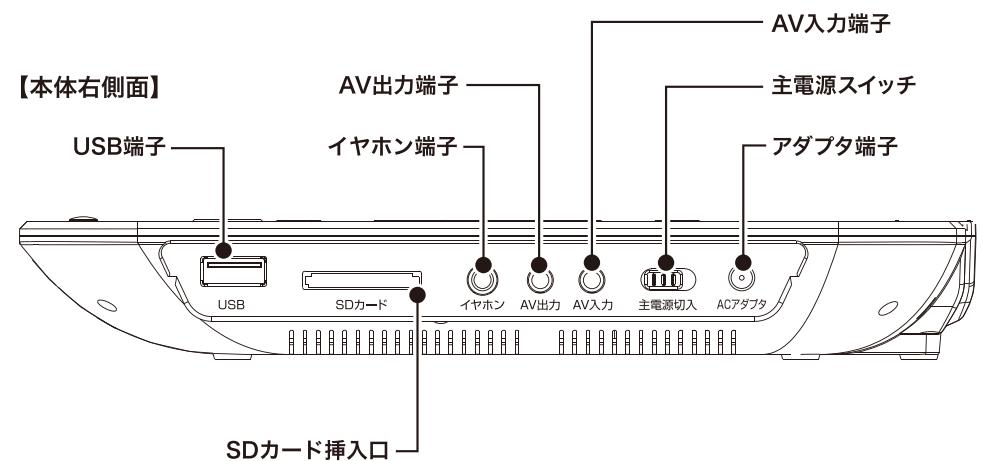
- ・リモコン受光部
- ・充電ランプ
- ・電源ランプ

【本体左側面】



※このステッカーの下には修理用の端子が有ります。  
使用される方は絶対にはがさないでください。  
※表裏を確認の上、挿入してください。

【本体右側面】

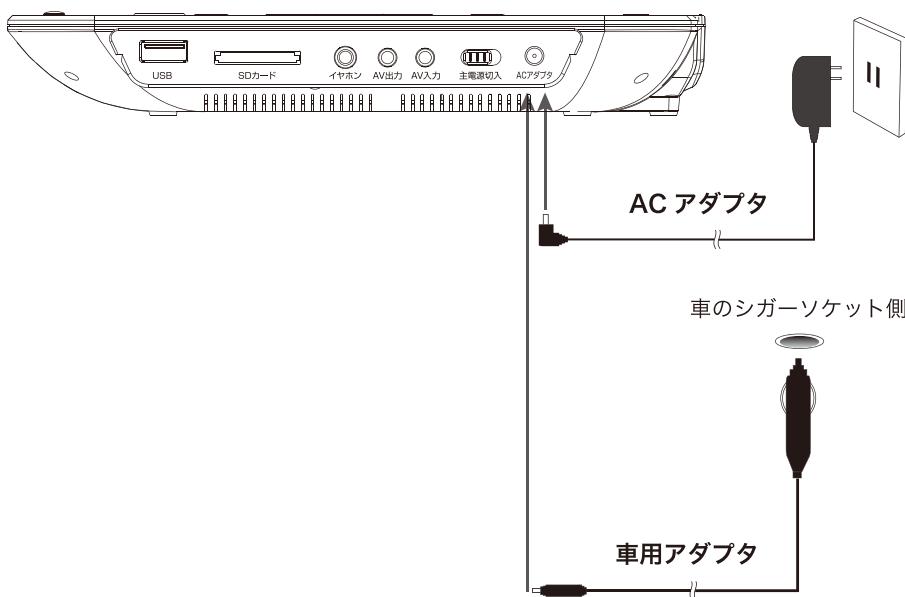


※mini B-CASカードやSDカード等を違う端子／挿入口に挿しこむと、取出せなくなります。その場合はご自身で取り出さず、必ず保証書にある販売／製造元までご連絡ください。

## ○電源の接続

1. 電源が“切”になっていることを確認します。
2. ACアダプタは右側面アダプタ端子に挿しこみ、家庭用コンセントと接続します。  
車用アダプタは右側面アダプタ端子に挿しこみ、車のエンジン回転数が安定してからシガーライターソケットに接続します。  
※エンジンをかける前に接続しないでください。

【本体右側面】



3. 本体右側面の主電源スイッチをスライドさせ、“入”にしてご使用ください。

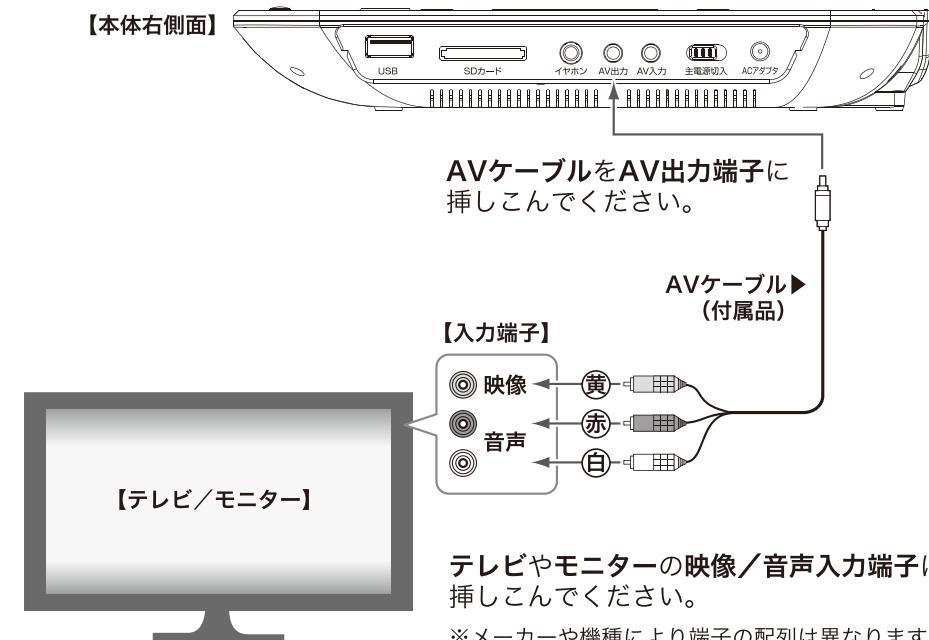
※AC及び車用アダプタは本製品付属品または弊社純正品を必ずお使いください。  
※カーバッテリーでは充電しないでください。  
※外国車等、シガーソケットの形状によっては使用できない場合があります。  
※車用アダプタの対応電圧は12Vです。24V車では使用しないでください。発火や故障の原因となります。

## ○外部機器との接続

### ■テレビ／モニターとの接続

本機で再生した映像を外部のテレビやモニターで視聴することができます。

【本体右側面】



テレビやモニターの映像／音声入力端子に  
挿しこんでください。

※メーカー・機種により端子の配列は異なります。

### ■外部映像・音響機器との接続

●映像機器：お手持ちのビデオレコーダーやビデオプレーヤー等の映像を本体右側面のAV入力端子に接続し、視聴することができます。

※付属のAVケーブルの端子がお手持ちの機器の出力端子と適合していない場合は別途ケーブルが必要です。

●イヤホン／ヘッドホン：お手持ちのイヤホン／ヘッドホンを本体右側面イヤホン端子に接続すると、公共の場や夜中等、騒音に気をつけなければならない環境でも充分な音量で視聴することができます。

●アンプ／スピーカー：お手持ちのオーディオ用アンプやアンプ内蔵スピーカーを本体右側面AV出力端子に接続し、視聴することができます。※別途ケーブルが必要です。

※ケーブル(コード)は必ず本製品付属品、または弊社純正品をお使いください。

※他社製ケーブルのご使用、及びそれにより生じた本製品の不具合／故障は弊社保証の対象外です。

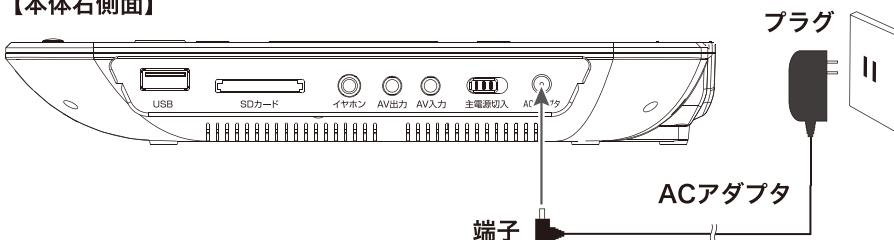
## ○充電する

### ご使用前に必ず充電してください。

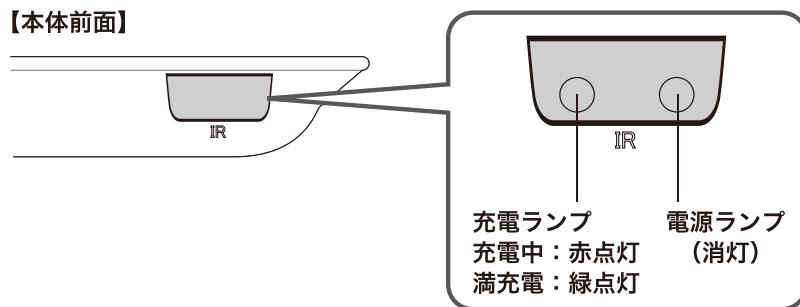


本製品には充電池が内蔵されています。初めてご使用になる場合や、長時間ご使用にならなかった時は約3時間半の充電が必要です。  
また、充電する事により、電源のない場所でもご使用いただけます。

【本体右側面】



【本体前面】



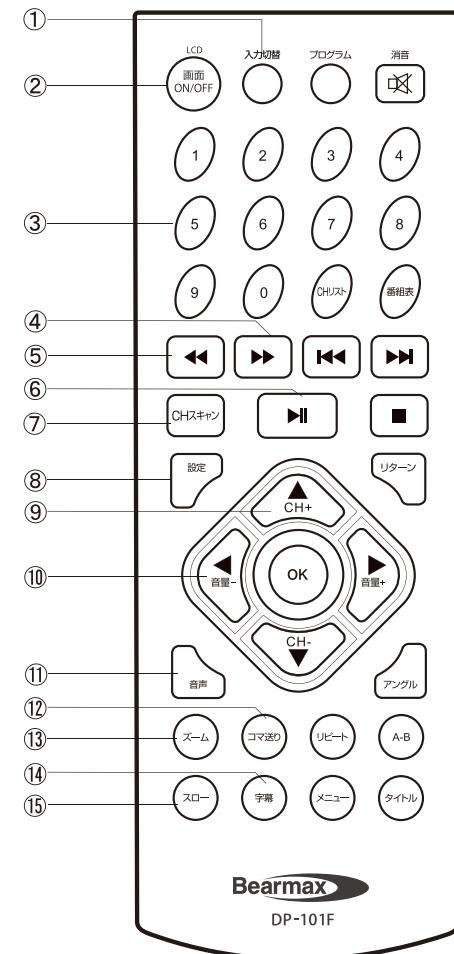
1. 主電源スイッチが“切”側になっている事を確認します。
2. ACアダプタの端子を本体右側面のアダプタ端子に差込みます。
3. ACアダプタのプラグをコンセントに差込みます。
4. 充電が始まります。この時本体前面の充電ランプが赤色に点灯します。
5. 本体前面の充電ランプが緑色に変わると充電完了です。

※主電源スイッチが“入”側になっていると満充電までに時間がかかります。  
必ず“切”側になっている事を確認の上、充電してください。  
※ACアダプタは必ず本製品付属品、または弊社純正品をお使いください。  
※他社製ACアダプタのご使用、及びそれにより生じた本製品の不具合／故障は弊社保証の対象外です。

## ○リモコンについて

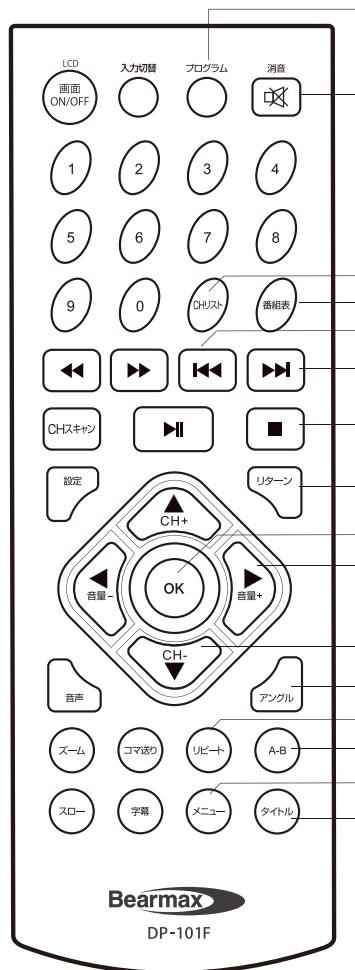
### ■リモコンのボタンとはたらき

- ① 入力切替ボタン  
DVD/TV(テレビ)/AV IN(外部入力)を切替えます。
- ② 電源ON/OFFボタン  
本体の主電源が“入”的状態の時に押すと、電源のオン/オフを切替える事ができます。  
※本操作時の「電源オフ」は「スタンバイ状態」です。  
充電でのご使用時に電池の消耗を防ぐには、本体の主電源を“切”にしてください。
- ③ 数字ボタン  
曲の番号等直接入力時に使用します。
- ④ ▶▶ボタン 早送り(押すごとに速度が変わります)
- ⑤ ◀◀ボタン 早戻し(押すごとに速度が変わります)
- ⑥ ▶▶▶ボタン 再生/一時停止(押すごとに切替)
- ⑦ CHスキャンボタン  
受信可能な放送局(チャンネル)を検索します。
- ⑧ 設定ボタン  
スクリーンセーバー、レジューム、音声、字幕等の各種設定ができます。
- ⑨ ▲ボタン  
CH+  
上方向選択やチャンネルを切替できます。
- ⑩ ◀ボタン  
音量-  
左方向選択や音量を小さくできます。
- ⑪ 音声ボタン  
音声(言語)を切替できます。
- ⑫ コマ送りボタン  
ディスクの再生中コマ送りを行います。
- ⑬ ズームボタン  
再生中に押すと画面の倍率が変化します。
- ⑭ 字幕ボタン  
字幕を切替える時に使用します。
- ⑮ スローボタン  
スロー再生をします。



# ○リモコンについて

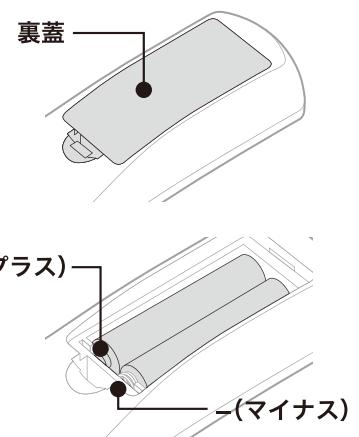
## ■リモコンのボタンとはたらき



- ⑯ プログラムボタン  
プログラム再生の設定時に使用します。
- ⑰ 消音ボタン  
ディスク再生時ののみ消音 \*その他の時は音量
- ⑱ CHリストボタン  
視聴中のチャンネル情報を表示します
- ⑲ 番組表ボタン  
テレビの番組表を表示します。
- ⑳ ▶◀ (21) ▶▶  
前や次のチャプターにスキップします
- ㉑ ■ボタン  
再生を停止します。
- ㉒ リターン  
前の画面に戻ります。
- ㉓ OKボタン  
各種設定や選択下項目を実行します。
- ㉔ ▶ボタン  
右方向選択や音量を大きくできます。
- ㉕ CH-▼ボタン  
下方向選択やチャンネルを切替できます。
- ㉖ アングルボタン  
対応のディスクのみ映像アングル切替がで
- ㉗ リピートボタン  
オール、チャプターを繰返し再生できます
- ㉘ A-Bリピートボタン  
任意の範囲を繰返し再生できます。
- ㉙ メニューボタン  
再生中に押すと、メニュー画面に戻ります。
- ㉚ タイトルボタン  
タイトルを選択する時に使用します。

## ■電池交換

- ①リモコンの裏蓋を、レバーを引きながら持ち上げ、蓋を開けます。
- ②単4型乾電池2本を、リモコン電池ケース内の表示に合わせて、プラス(+)とマイナス(-)の向きを間違えないように、正しく入れます。  
※乾電池は、マイナス側を先に入れてから、プラス側を入れます。
- ③裏蓋を閉じます。



- 乾電池が消耗すると、リモコンで操作できる距離が極端に短くなります。このような場合は、すべて新しい乾電池に交換してください。
- リモコン受信部とリモコンとの間に障害物があると、操作できないことがあります。
- 直射日光下やインバーター蛍光灯の近くでは、強い光が当たると正常に動作しないことがあります。

- ※リモコンを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- ※リモコンに水をかけたり、濡れた物の上に置かないでください。故障の原因となります。
- ※長時間使用しないときは、電池の液漏れ防止のため、電池を取り出しておいて下さい。  
万が一液漏れをしてしまったときは、リモコンに付いた液をよく拭き取り、新しい電池と交換して下さい。
- ※付属の電池は初期動作確認用のため、新品の電池より寿命が短い場合があります。  
電池が消耗していますと、リモコンで操作できる距離が短くなります。  
(リモコン操作範囲は約3m・60°以内となります。)
- ※消耗した乾電池は早めに交換してください。
- ※新しい乾電池と、一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ※種類の異なる乾電池（アルカリとマンガンなど）を混ぜて使用しないでください。  
同じ形状でも性能の異なるものがあります。
- ※乾電池が液漏れをした場合には、直ちに乾電池を破棄してください。漏れた液にふれたり、衣類などに付着しないようにしてください。新しい乾電池を入れる前に電池ケース内をきれいに拭いてください。



ご注意

# ○ DVDを再生する



**【警告】** 運転中のドライバーご自身による本機の操作や視聴は大変危険です。  
絶対になさらないでください。

## 1. 主電源を入れる

本体右側面の**主電源スイッチ**を右にスライドさせ、“入”状態にします。

※リモコンのスイッチは主電源ではありません。

## 2. ディスクを入れる

トレイ開ボタンを押し、**ディスクトレイカバー**を開けます。

再生したいディスクのラベル面を上にして装着します。

※初めてご使用になる場合は、中央にある紙製のレンズ保護カバーを外してください。

※**ディスクトレイカバー**部分は非常に壊れやすい為、丁寧に開閉いただきます様お願い致します。

## 3. 再生の開始

**ディスクトレイカバー**を閉じるとディスクの読みが始まり、読みが完了すると自動で再生が始まります。

※ディスクによってはトップメニューでの選択が必要な場合があります。

※正規市販品以外のディスクは読みに時間がかかる場合がございますが、本機の故障ではありません。

※ディスクにキズや汚れ、ゆがみなどありますと読み込めない場合や異音がする場合があります。

## 4. 一時停止、停止

再生中にリモコンや本体の「**再生／一時停止** ▶||」ボタンを押すと、一時停止します。

もう一度押すと再生が再開します。再生を停止する場合は「**停止** ■」ボタンを押します。

※レジューム機能設定時

## 5. 音量の調整

再生中リモコンや本体の「**音量+/-**」ボタンで調整できます。

また、リモコンの「**消音**」ボタンで音声を消すことも可能です。

## 6. 早送り・早戻し

本機は早送り・早戻しの速度を、最大32倍速まで調整出来ます。再生中にリモコンの「**早送り** ▶▶」ボタン・「**早戻し** ◀◀」ボタンを押すごとに速度が次のように変わります。

**ノーマル再生** ⇒ **2倍速** ⇒ **4倍速** ⇒ **8倍速** ⇒ **16倍速** ⇒ **32倍速**

## 7. 場面のスキップ

リモコンか本体の「次へ ▶▶」ボタン・「前へ ◀◀」ボタンを押すと、次や前のチャプターに移動します。

※チャプター編集がされていないディスクでは機能しません。

## 8. トップメニュー画面

リモコンか本体の「**メニュー**」ボタンを押すと、トップメニュー画面になります。トップメニュー画面では、主にチャプターや字幕、言語の選択等を行います。

※メニュー画面のないディスクもあります。

## 9. アングルの切替

マルチアングルで記録編集されたディスクは、リモコンの「**アングル**」ボタンで映像のアングルを切替えることができます。

ボタンを押すごとにアングルの映像に切替ります。

## 10. 音声言語の切替

再生中にリモコンの「**音声**」ボタンを押すごとに言語を切替えることができます。

※複数の言語が記録されたディスクのみ機能します。

## 11. ズーム（拡大・縮小）切替

再生中にリモコンの「**ズーム**」ボタンを押すごとに画面の表示倍率が次のように変わります。

**2倍** ⇒ **3倍** ⇒ **4倍** ⇒ **1/2倍** ⇒ **1/3倍** ⇒ **1/4倍** ⇒ **ノーマル画面**

## 12. リピート再生

再生中にリモコンの「**リピート**」ボタンを押すごとに次のように変わります。

**チャプターのリピート** ⇒ **タイトルのリピート** ⇒ **オールリピート** ⇒ **通常再生**

※ディスクによってはリピートができない場合があります。

※本機は任意の範囲のみのリピート再生もできます。

詳しくは次ページ「**13.A-B（任意の範囲）リピート**」再生をご覧ください。

## ● DVDを再生する

### 13. A-B（任意の範囲）のリピート再生

再生中に任意の範囲の場面を範囲指定してリピート再生を行うことができます。

再生中にリピートを開始したい場面でリモコンのA-Bボタンを押す(開始点)と画面に  A が表示される ⇒ リピート再生を終了させたい場面(終了点)でリモコンのA-Bボタンを再度押す ⇒ 画面に  AB が表示され、指定したA～Bまでの場面が繰り返し再生されます。

●通常再生に戻る場合はもう一度リモコンの「A-B」ボタンを押します。

### 14. スロー再生／コマ送り再生

再生中にリモコンの「スロー」ボタンを押すごとに下記の速度でスロー再生ができます。

1/2倍 ⇒ 1/4倍 ⇒ 1/8倍 ⇒ 1/16倍 ⇒ ノーマル再生

再生中にリモコンの「コマ送り」ボタンを押すと、コマ送り再生ができます。  
コマ送りボタンを押すたびに1コマずつ進みます。

●通常再生に戻る場合は「再生／一時停止 ▶II」ボタンを押します。

### 15. 消音

再生中にリモコンの「消音」ボタンを押すと、音声を消すことができます。

●通常再生に戻る場合はもう一度「消音」ボタンを押します。

#### 【自動シャットダウンについて】

初期画面のまま何も操作しない状態が続くと、自動的に電源が切れます。再び使用を開始する場合は再度電源を入れてください。また使用しない場合は主電源スイッチを“切”にしてください。

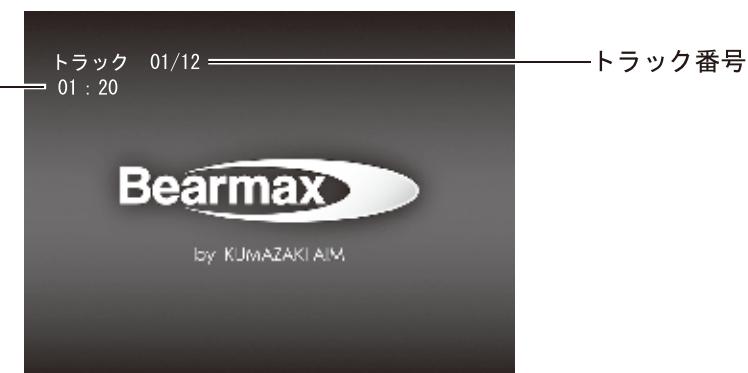
## ● CDを再生する

本機では音楽CDを再生することができます。音楽CDをセットしてディスクカバーを閉じると、自動的に再生を開始します。音楽CDの再生ではDVDの再生と同じボタン操作で以下の操作を行うことができます。

- 再生 ●停止：「停止 ■」ボタンを一度押すと「仮停止」、もう一度押すと停止します。
- 一時停止 ●次／前スキップ ●早送り ●早戻し
- リピート再生：「リピート」ボタンを押すごとに「トラック(1曲繰返し)」「オール(全曲繰返し)」と切替ります。 ●消音

#### CD再生時の画面表示

音楽CDの再生中は、トラック(収録曲)の再生時間等の情報が画面に表示されます。



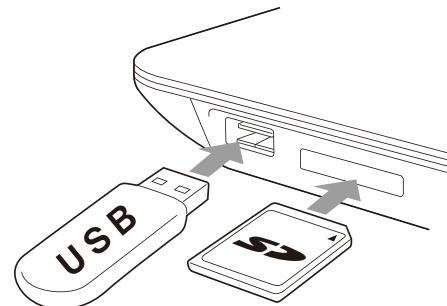
#### ●プログラム再生

曲をお好みの順番に記憶させて再生する事が出来ます。1回の設定で最大20曲まで記憶させる事が出来ます。

1. CD再生中にリモコンの「プログラム」ボタンを押します。
2. プログラム入力画面が表示されます。
3. リモコンの「数字」ボタンで、空欄に再生したい順番に曲番号を入力します。  
※曲番号が一桁の場合でも、必ず二桁で入力してください。  
例) 3曲目の場合は最初に「0」を押し、続けて「3」を入力します。
4. 画面の「スタート」を選択し、「OK」ボタンを押すと記憶させた曲順で再生を始めます。  
※電源を切ったり、ディスクを取出すと記憶は消去されます。

# ○ SDカード／USBメモリの読み込み

SDカード、USBメモリをそれぞれの挿入口  
／端子に挿しこんでください。挿入口／端子  
は画面に向かって右側にあります。  
※SDカードはminiB-CASカードの挿入口  
と間違ないように注意してください。  
※SDカードは奥まで挿しこまれません。  
本体から約2cmほど出ておりますが、  
正常な状態です。無理に押し込むとSD  
カード及び本体が破損する恐れがあります。



## ●microSD、miniSDカードの場合

必ずSDカードアダプタ(別売)に入れてから挿しこんでください。  
そのまま挿入すると取出せなくなります。

※JPEG、MP3、WMAのファイル（拡張子）に対応しています。

## ■メディア（SDカード／USBメモリ）の読み込みの手順

●ディスク(DVD, CD)を入れない場合：メディアを挿しこむ、あるいは挿しこんだまま電源をONにすると通常は「読み中」「ディスクなし」表示に続きフォルダやファイルを認識します。

※認識しない場合は下記の手順を行うか、本機の電源を入れ直してください。

●ディスクを再生中の場合：本体の「DVD/USB/SD」ボタンを押します。  
「Waiting」の表示に続き、フォルダやファイルを認識します。

※上記の操作でも認識しない場合はメディア(SDカード／USBメモリ)自体の問題や本製品との相性、互換性の問題が考えられますので、違うメディアをご使用ください。  
同じメーカーのメディアであっても型番等が変わると認識しない場合があります。

※すべてのメディアの再生の保証はできません。

※高画素数や大きいサイズの画像は読み込めない場合があります。

※当機は4:3画面比にも対応しております。4:3の再生は設定ボタン⇒映像設定⇒画質⇒画面モードで4:3にそれぞれ選択して設定⇒再生してください。

※本製品に対応しているファイル形式であっても、ファイル保存時に使用したパソコンのメーカーやバージョン、種類によっては再生できない場合があります。

## フォルダ

各フォルダを選択し、「OK」ボタンを押すとフォルダ内のファイル一覧が表示されます。  
前の画面に戻るには、タイトル名の無いフォルダ（右図）□..を選択し、「OK」ボタンを押します。

## ファイルの再生

ファイル選択画面に、メディア内のフォルダやファイルが表示されます。  
リモコンまたは本体の「▲▼」ボタンでハイライト移動させ、再生したいファイルを選択し、「再生／一時停止 ▶||」ボタンを押すと、そのファイルから再生が始まります。

※詳しい再生方法は次ページ以降をご覧ください。



※ファイルの順番は撮影日時や同期やコピーした順にはなりません。

予めご了承ください。

※すべてのファイルやメディアの再生を保証するものではありません。

## ○音楽ファイルの再生

本機でMP3及びWMA形式の音楽ファイルを再生することができます。  
※すべてのファイルやメディアの再生を保証するものではありません。

### ■音楽ファイルの再生方法

1. MP3またはWMAファイルが入ったSDカードまたはUSBメモリを本体側面のそれぞれの差込口／端子に挿入します。自動的に読み込み、認識します。

※自動で認識しない場合は「DVD/USB/SD」ボタンを押します。

※ディスク再生中の場合は「DVD/USB/SD」ボタンを押します。画面左上に「■仮停止」  
⇒「Waiting」と表示された後、メディアを認識します。

2. 右のような画面が表示されます。  
再生したいフォルダを選択し、「OK」ボタンを押します。

ファイルが入って  
いるフォルダ

※前の操作に戻る場合は、「◀▶」ボタン  
を押してください。



3. 再生するファイルを「▼▲」ボタンで選択し、「OK」または、再生／一時停止「▶||」ボタンを押します。

4. 再生が始まります。選択したファイルから順番に自動再生します。

※再生を途中で止める場合は、停止「■」ボタンを押します。



### ●リピート再生

音楽ファイルを繰り返し再生することができます。

リモコンの「リピート」ボタンを押すごとに再生モードが次のように切替ります。

- ・1ファイルリピート（選択したファイルのみ繰り返し再生）
- ・フォルダリピート（フォルダ内の全ファイルを繰り返し再生）
- ・リピートオフ ※再生中に操作出来ます。

※前の画面に戻るには「メニュー」ボタンを押してください。

## ○静止画像の再生

本機ではJPEG形式の画像ファイルを再生することができます。

※メディア／ファイルの再生に関する注意点は次ページをご確認ください。

### ■JPEGファイルの再生方法

1. JPEGファイルが入ったSDカードまたはUSBメモリを本体側面のそれぞれの挿入口／端子に挿入します。自動的に読み込み、認識します。

※自動で認識しない場合は「DVD/USB/SD」ボタンを押します。

※ディスク再生中の場合は「DVD/USB/SD」ボタンを押します。画面左上に「■仮停止」  
⇒「Waiting」と表示された後、メディアを認識します。

2. 右のような画面が表示されます。  
再生したいフォルダを選択し、「OK」ボタンを押します。

※DCIMフォルダを選択した場合、下の階層のフォルダ画面が表示されますので、もう一度再生したいフォルダを選択し、「OK」ボタンを押してください。

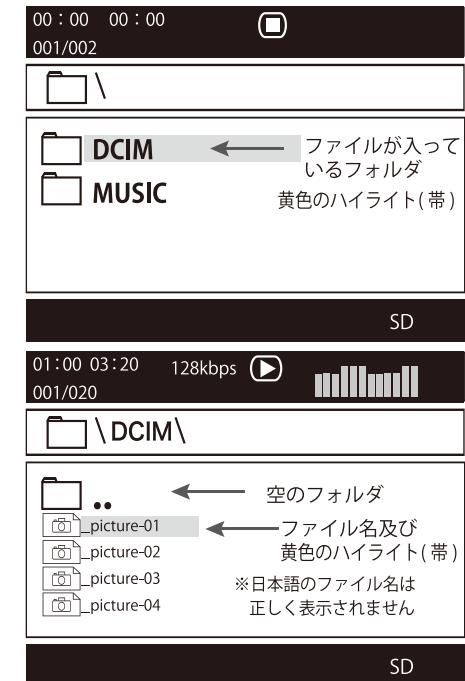
※前の操作に戻る場合は、「◀▶」ボタンを押してください。

3. 再生するファイルを「▼▲」ボタンで選択します。右側に画像のプレビューが表示されますので、確認後「OK」または、再生／一時停止「▶||」ボタンを押します。

4. スライドショーでの再生が始まります。選択した画像から順番に自動再生します。

※特定の画像を表示し続ける場合は、再生／一時停止「▶||」ボタンを押します。

※再生を途中で止める場合は、停止「■」ボタンを押します。



### ●リピート再生

画像ファイルを繰り返し再生することができます。

リモコンの「リピート」ボタンを押すごとに再生モードが次のように切替ります。

- ・1ファイルリピート（選択したファイルのみ繰り返し再生）
- ・フォルダリピート（フォルダ内の全ファイルを繰り返し再生）
- ・リピートオフ ※再生中にこの操作を行う場合は、「■」ボタンを押してください。

※前の画面に戻るには「メニュー」ボタンを押してください。

## ○メディア／ファイルの再生について

### ■画面比率について

静止画像の画面比率は初期設定で16:9になっており、横長で表示されます。  
画面比率を4:3にするには、以下の手順で設定してください。

- ①設定ボタンを押す ⇒ ②映像設定を選択 ⇒ ③OKボタンを押す ⇒ ④画質を選択 ⇒  
⑤OKボタンを押す ⇒ ⑥画面モードを選択 ⇒ ⑦▶ボタンを押して選択項目に移動 ⇒  
⑧4:3を選択 ⇒ ⑨OKボタンを押す ⇒ ⑩設定ボタンを押す ⇒ ⑪設定完了

※再生中も設定変更が可能です。

■ファイルやフォルダの順番は作成／保存順にはならない場合があります(特に静止画像の場合)。また記録状況／方式によっては音飛びが発生したり再生できない場合があります。

■すべてのUSBメモリ及びSDカードの動作保証はしておりません。

■SDカード、USBメモリは同じメーカーであっても型番によっては再生できない場合があります。

■静止画像はJPEG形式のファイル(拡張子「.jpg」)を再生できます。  
ただし記録状況／方式によっては再生できない場合があります。  
「.bmp」「.tif」など他の画像形式のファイルは非対応です。

■画像ファイルサイズまたはファイル構造により、表示されるまで時間を要することがあります、表示自体ができない場合があります。

■デジタル著作権管理(DRM)された音声・映像及び画像ファイルは再生できません。

■音楽再生はMP3、WMA(DRM非対応)形式ファイルをパソコンから転送時に専用ソフトなどを使って独自の暗号化(著作権保護)を施されたファイルは再生できません。

■動画再生はMPEG4の形式ファイルでも、すべての再生を保証するものではありません。  
記録条件・状況によって再生できない場合があります。

■ブルーレイ、H.264/MPEGAVC、AVCREC等の形式／ディスクのDVD-RAMは非対応です。

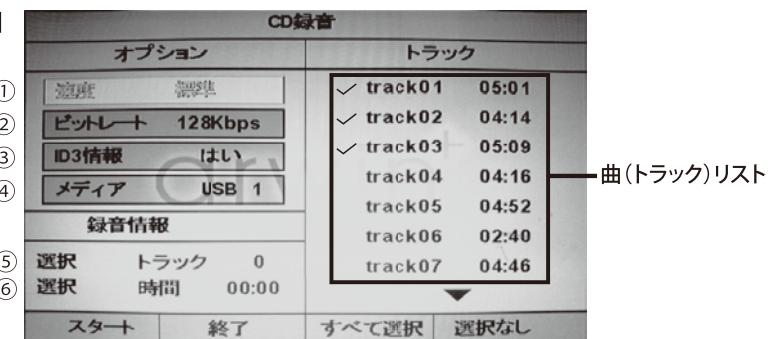
■データ名、ファイル名の表示は英数字のみに対応しています。日本語などその他の言語は正しく表示されません。

■ディスクが読み込まない場合は本機では非対応のディスクが考えられます。地デジ放送の録画やダビングはCPRM対応ディスクにてVRモードで行ってください。また最後にファイナライズ処理を行わないと本機を含め他の機器では再生できません。

## ○CDをSD／USBに録音(コピー)する

1. SDカード／USBメモリをそれぞれの差込口／端子に挿入します。
2. CDディスクを再生し、リモコンの「字幕」ボタンを押すと、「録音設定画面(CD録音)」が表示されます。※録音時の音量は事前再生時の音量となります。録音時に音量の変更はできません。
3. 録音(コピー)設定をします。  
本体カリモコンの▼▲▶◀ボタンで項目を選択し、「OK」ボタンを押して決定します。

【録音設定画面】



①速度：録音速度の標準か高速のいずれかを選びます。切替えるには「OK」ボタンを押します。

●標準：録音と同時に再生が始まります。(再生音が出力します。)

※録音時の音量は事前再生時の音量となります。録音時に音量の変更はできません。

●高速：録音時に再生音は出力しません。

②比特率(圧縮率)：「OK」ボタンを押すごとに録音の圧縮率を設定できます。

●96kbps⇒112kbps⇒128kbps⇒192kbps⇒256kbps⇒320kbps

※数値が大きいほど音質は良くなりますが、ファイルサイズは大きくなります。

③ID3TAG：ディスク情報等を附加します。※情報付加はディスクにより異なります。

④メディア：SDカードかUSBメモリが挿入されていると録音先の検出メディアを表示します。

※検出表示が出ない場合は録音できません。

⑤選択されたファイル数 ⑥選択されたファイルの総時間

4. 録音する曲(トラック)を選択します。

●全曲録音：「すべて選択」を選択し、「OK」ボタンを押す。すべての曲に✓マークが入る。

●曲を選択：録音する曲を選択し、「OK」ボタンを押す。選択した曲のみ✓マークが入る。

5. 「スタート」を選択し「OK」ボタンを押します。数秒後に録音が始まります。

「CDA\_RIP」名のフォルダが自動作成され、トラックファイルが順に収納されます。

録音を途中で止める場合は「OK」ボタンを押します。

6. 録音を終了するには、「終了」を選択し、「OK」ボタンを押します。

※コピーガード他、ディスクによっては録音(コピー)できない場合があります。

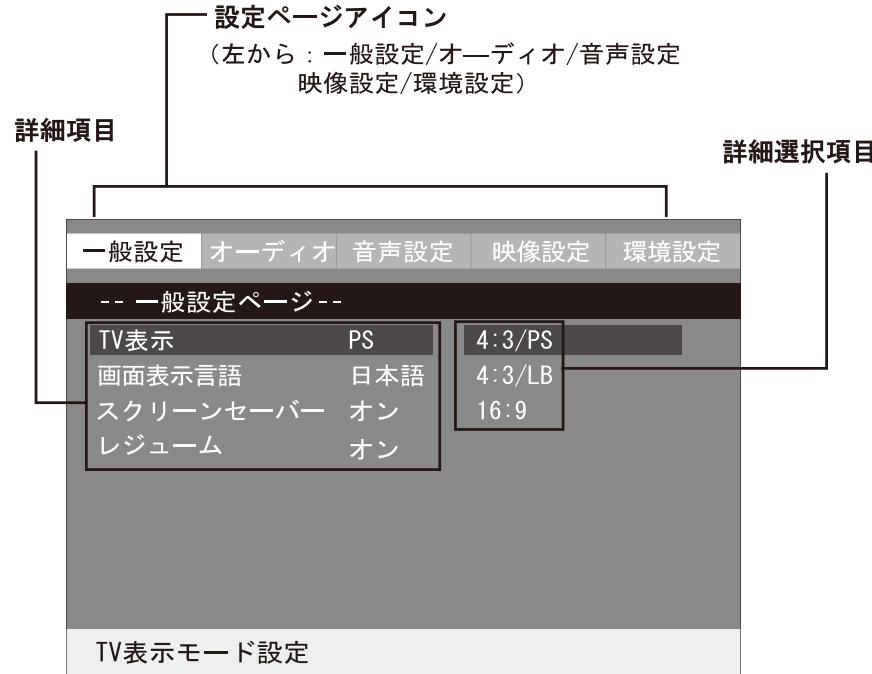
※録音に使用するSDカード／USBメモリ内の重要データは録音前にバックアップしてください。

※micro及びminiSDカードを使用するにはSDカードのアダプターが必要です。

# ○機能設定

本機では、画質や音声など、各種詳細項目を設定することができます。  
必要に応じて変更してください。

## 機能設定ページ



## 【設定の手順】

1. 本体及びリモコンの「設定」ボタンを押すと上記の画面になります。
2. 設定ページ⇒詳細項目⇒詳細選択項目の順に選択・決定していきます。
3. まず上段の設定を変更したい項目へ本体およびリモコンの方向ボタン▶◀で移動します。
4. 設定を変更したい設定ページアイコン(上段の黄色の帯)の位置で「OK」ボタンを押します。  
※間違った場合は方向ボタン◀を押すと上段の選択画面に戻ります。
5. 詳細項目を▼ボタンで選択します(緑色の帯になります)。⇒ 詳細選択項目を▶で選択します(緑色の帯になります)。⇒ 最後に「設定」ボタンを押すと設定画面が終了します。

設定項目は以下の通りです。

設定ページ	詳細項目
一般設定	TV表示 画面表示言語 スクリーンセーバー レジューム
オーディオ	ダウンミックス
音声設定	ステレオ ダイナミック
映像設定	画質
環境設定	音声言語 字幕言語 ディスクメニュー 初期設定

## 一般設定

### ■TV表示(画面のサイズ・比率の設定)

1. 4:3/PS(パンスキヤン) ※4:3(スタンダード)の設定は映像設定画面でおこなってください。
2. 4:3/LB(レターボックス)
3. 16:9(ワイド) ※16:9(ワイド)に初期設定されています

### ■画面表示言語(設定画面の言語の設定)

1. 英語
2. 日本語

### ■スクリーンセーバー

1. オン
2. オフ

### ■レジューム(停止したシーンから再度再生できる機能です)

1. オン
2. オフ

## オーディオ

※設定変更してもご満足な音響を得られない恐れがあります。

変更なしでそのままのご使用をお奨めします。

### ■ダウンミックス(ご使用のスピーカー環境に合わせた出力方式の設定)

1. LT/RT
2. ステレオ

## ○機能設定

※4:3画面設定以外は初期設定でのご使用をお奨めします。

### 音声設定

#### ■ステレオ

1. ステレオ
2. 左モノラル
3. 右モノラル
4. ミックスモノラル

#### ■ダイナミック

1. FULL
2. 3/4
3. 1/2
4. 1/4
5. OFF

### 映像設定

※4:3（スタンダード）画面比の設定はこの項目です

#### ■画質

1. シャープネス（高／中／低）
2. 明るさ（-16～+16）
3. コントラスト（-16～+16）
4. 画面モード（4:3 16:9）

※4:3スタンダード画面比に設定の場合はこちらで選択し設定してください。画面の左右がカットされ少し縦長の再生になります。通常は16:9（ワイド）に設定してください。

### 環境設定

#### ■音声言語（再生時の音声の設定）

1. 英語

2. 日本語

#### ■字幕言語（再生時の字幕の設定）

1. 英語

2. 日本語

#### ■ディスクメニュー（ディスクのメニュー画面の言語の設定）

1. 英語

2. 日本語

#### ■初期設定（全ての設定を向上出荷時の状態に戻ります。）

リセット

## ○地上デジタル放送を視聴する

### ■地上デジタル放送視聴の概略手順



地上デジタル放送を受信するには、付属のminiB-CASカードの常時挿入が必要です。

※ワンセグ放送のみの視聴にはB-CASカードは必要ございません。

【重要】ご注意：B-CASカードは著作権保護の為、B-CAS社によって厳重に管理されております。カードの所有権はB-CAS社にあり、開封された後はB-CAS社との契約上、弊社ではカードの返品や交換は一切できません。B-CAS社へのお問い合わせは最下段をご覧ください。

### ■B-CASカードを挿入する

#### 1. 台紙（右画像）からB-CASカードを取り出す

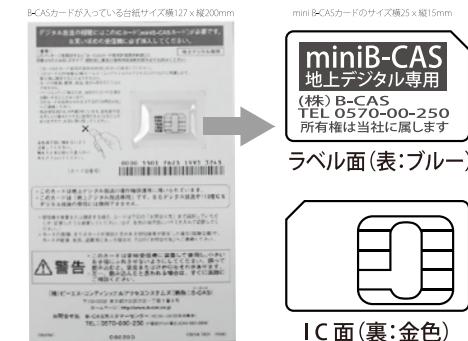
※取出す際に金色のIC面に指が触れない様、ご注意ください。

#### 2. 電源が“切”的状態でmini B-CASカード挿入口の場所を確かめる

#### 3. 表ラベル面（ブルー色）を上にして挿入する

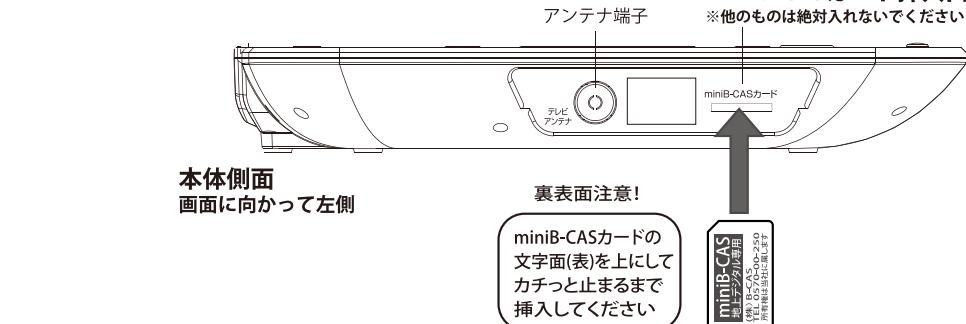
角がカットされていない手前両端を持って少し入ったら中央部を奥に「カチッ」と止まるまでゆっくり挿入する。

※取り出す時は上記手順1、2を逆にしてください。



mini B-CASカード挿入口

※他のものは絶対入れないでください



※miniB-CASカードをSDカード端子他に挿入しますと取り出せなくなります。その場合は自分で分解しないで、保証書に記載されている製造元までお問い合わせください。

※金色IC面に触れたり汚したり、カードに衝撃を加えたり、折り曲げたりしますと使用できなくなることがありますので丁寧に扱ってください。

※miniB-CASカードの不具合、破損、紛失などのお問い合わせは

(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ B-CASカスタマーセンター TEL.0570-000-250

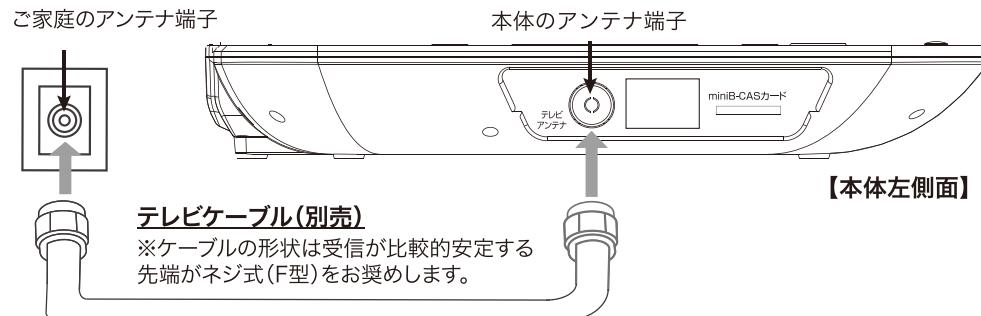
# ○地上デジタル放送を視聴する

## ■本機とアンテナを接続する

**【重要】** 地上デジタルテレビ波の受信は非常に難しく、かつ受信環境が非常に重要です。室内では屋根などに設置の地デジ対応のアンテナと直接接続してください。ただし、ケーブルテレビを利用、共同アンテナ、複数のテレビを使用等の状況が原因で受信しない場合は 33 ページをお読みください。

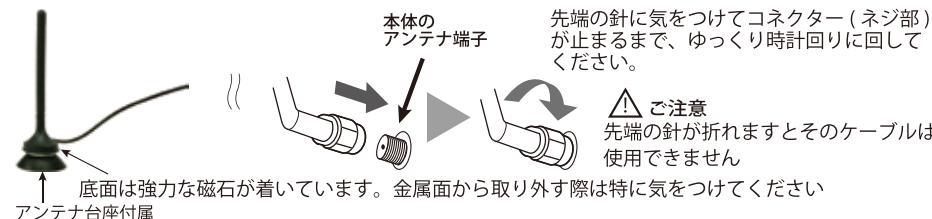
### ●テレビケーブルで接続する

アンテナ端子(地デジ対応)と本機をテレビケーブル(別売)で接続します。



### ●付属のロッドアンテナで接続する

※付属のロッドアンテナはあくまで簡易アンテナです。高受信環境でないと受信しません。特に室内では余程の高受信環境でないと受信(視聴)はできません。



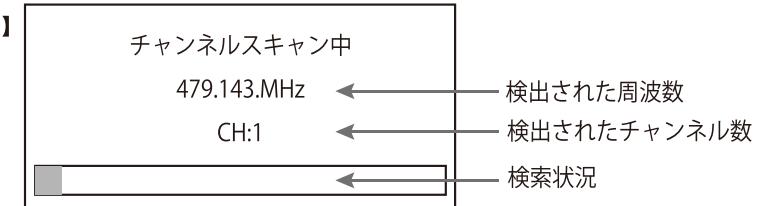
### 受信アップのポイント

- 周囲に障害物や電線等がない見晴しが良い場所に移動する
  - 付属のアンテナ台座を使う
  - 地域のテレビ塔にアンテナを向ける
  - アンテナ底面のマグネットを金属に設置する
  - 設定をワンセグ優先にする
- ※設定方法は35ページの「放送設定」→■受信方法設定をご覧ください。

## ■放送局の検索/検出/登録(CHスキャン)

1. 画面左上に「TV」と表示されるまで「入力切替」ボタンを押します。  
※ディスクが入っていない時は、「ディスクなし」と表示されてから押してください。  
※テレビ視聴の際はディスクが入っていない状態の方が操作時の反応が速くなります。
2. 画面中央に「Loading…」と表示された後、自動的に検索が始まります。  
※自動で検索が始まらない場合は、リモコンの「CHスキャン」ボタンを押してください。

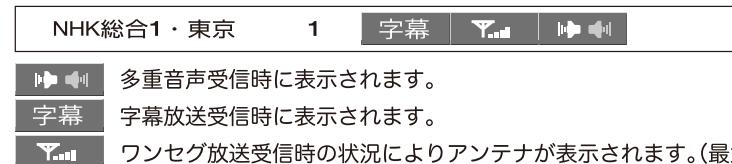
### 【検索中の画面例】



※検索終了までは数分かかります。受信環境が悪い場合は特に時間を要します。  
※受信環境やアンテナに問題がある場合、放送局は検出されません。テレビ視聴に関する問題については、35、36ページをご覧ください。

3. 放送局の検索/検出が終了します。

※検出された放送局は自動的に登録されます。  
※受信可能な放送局が検出された場合は検出終了後、一瞬下の様に画面表示されます。



4. 番組を視聴します。「CH+」「CH-」ボタンでお好みの放送局をお選びいただけます。  
※詳細な操作に関しては、次ページをご覧ください。

### 操作のポイント

- 入力切替をした場合等、再度「TV」画面にするとその都度「Loading…」と表示されます。しばらくしてもテレビ番組が始まらない場合(特にワンセグ時)はもう一度上記の「1.」の手順に戻って再度CHスキャンを実行してください。
- 視聴中の画面に「受信レベルが低下しました」と表示される場合は、その都度CHスキャンを実行してください。その際は一度電源を入れ直してから実行すると、受信状況が改善する場合がございます。

# ●地上デジタル放送を視聴する

## ■基本操作

### ●チャンネル選択

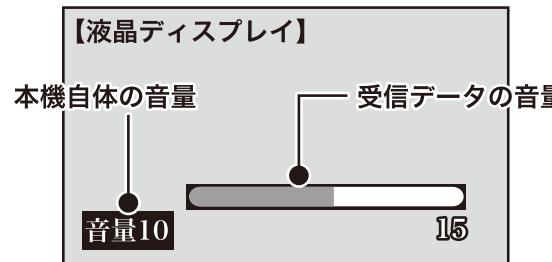
リモコンか本体の「CH+」「CH-」で選択します。

### ●音量調整

リモコンか本体の「音量+」「音量-」ボタンで調整します。

地上デジタル放送視聴時の音量調整方法は、2通りあります。本体の「音量+」「音量-」ボタンを長押しすると「**本機自体の音量**」を、单押しすると「**受信データの音量**」を調整することができます。

※「**本機自体の音量**」が「00」の場合、单押しで「**受信データの音量**」を最大にしても音声は出力されません。



### ●音声多重切替え

リモコンの「音声」ボタンで、ステレオもしくはモノラル左／右の切替えができます。

### ●字幕放送

字幕の表示、非表示を選択できます。※字幕放送の番組を視聴の場合のみ有効です。

### ●番組表

ご覧のチャンネルの番組表が表示されます。▼ボタンで以後(翌日等)を表示できます。  
前の画面に戻る場合は「リターン」ボタンを押します。

### ●チャンネルリスト

CHリストを押すと検索された放送局のリストが表示されます(※視聴中のチャンネルには✓マークが入っています。他の放送局に変更したい場合は「▼」「▲」で選択し、「OK」ボタンで決定します)。「◀」「▶」ボタンを押すと、フルセグ(地上デジタル)／ワンセグ放送のリストが切替わります。視聴に戻る場合は「リターン」ボタンを押します。

## ■放送設定

テレビを視聴中に「設定」ボタンを押すと、以下の設定ができます。

メニュー
受信方法設定
言語
パスワード変更
デバイス情報
工場初期化

※ご注意:パスワードは「工場初期化」の時にのみ使用します。

操作方法:「▼」「▲」で選択し、「OK」ボタンで決定します。

前の画面に戻る場合は「リターン」か「設定」ボタンを押します。

### ●受信方法設定 :

ワンセグ／主に屋外や受信感度が悪い場合に選択  
フルセグ／家庭等の屋外アンテナと直接つなぐ場合に選択  
自動／受信状況に合わせ自動で受信方法を選択

### ●言語 :

表示言語を日本語と英語から選択し設定できます。

### ●パスワード変更 :

パスワードを任意の数字に変更できます。  
工場出荷時の初期パスワードは「111111」です。

※なるべく変更しない事をおすすめします。

### ●デバイス情報 :

製品のシステムバージョンを確認します。

### ●工場初期化 :

パスワードを入力すると、製品の設定状態を工場出荷時に戻す事ができます。

## ●視聴がうまくできない時は下記をご確認ください

「映像が止まる」「音声が出ない」「音声が途切れる」等受信が安定しない場合や「受信レベルが低下しました」と表示され視聴できない場合、お問い合わせの前にまず下記事項を確認してください。ほとんどの場合は当機の不具合ではありません。

## ○ロッドアンテナを使用している場合

※当機とアンテナが正しく接続されているか確認してください。

●ロッドアンテナはあくまで簡易アンテナです。万能ではありません。特に屋内では高受信環境でないと受信できません。

テレビ電波の受信は非常に繊細で環境が整っていないと不可能です。

まず以下の受信環境をチェックしてください。

- ・天候が悪くないですか？ テレビ電波は天候に影響されます。
- ・建物内、地下、トンネル、移動中の乗り物等内では？
- ・電波塔の無い地域／地形、強力な電波を発する施設の近辺では？
- ・ご利用の地域は高電界地域ですか？ それ以下(中、低)は受信が困難な場合があります。
- ・電波をさえぎる物(建物等)電波障害を受けやすい場所等の近くでご利用ですか？
- ・近くに電線や高压線はありませんか？
- ・電化製品及び無線を発する製品の近くで使用していませんか？

## ●地上デジタル放送を視聴する

●まず前ページの環境をクリアしてください。

その上で下記をお試しいただくと改善される場合があります。

①何度か再スキャンする。

②受信方法設定を自動やフルセグからワンセグに変える。

③見通しの良い場所や違う場所に移動する。アンテナの設置場所を変える。台座を使う。

④鉄板や鉄製の物などがありましたらアンテナ底面マグネットで固定する。

⑤見通しの良い窓際等に移動する。あれば鉄製の手すりなどに設置する。

⑥またその際はテレビ塔の方向にアンテナを設置することで感度は増します。

※上記②～⑥はその都度「CHスキャン」を押して再スキャンする。

※一度受信(スキャン)した放送局が長時間安定する保証はございません。

●それでも改善しない場合はその場所でのロッドアンテナの使用はできません。

●室内使用の場合は屋根などに設置の地デジ用アンテナと直接つないでください。

## ○室内のアンテナ端子と当機が正しく接続している場合

・ケーブルテレビや通信系や電力系を利用していませんか?

・マンション等集合住宅の共同、共聴アンテナを使っていませんか?

※動作保証対象外です。契約会社やお住まいの建物の管理者にお問い合わせください。

・壁などのアンテナ端子で複数分派や分配していませんか?

※分派や増波、アンテナその物の交換が必要の場合がございます。詳しくは電気工事業者などにご相談してください。

・電波塔のない地域、地形、強力な電波発する施設の近辺、電波障害を受けやすい場所等は受信できないと考えられます。総務省や下記協会のホームページをご参照ください。

・天候が悪くないですか?テレビ電波は天候に影響されます。

●BS、CS、データ放送、緊急警報放送には非対応です。

●放送エリアの目安は社団法人デジタル放送推進協会ホームページをご参照ください。

<http://vip.mapion.co.jp/custom/DPA.B/>

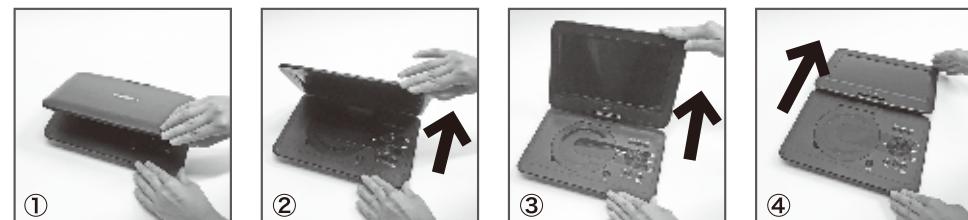
●その他はトラブルシューティングをご参照ください。

## ○液晶ディスプレイ部の位置調整

本機は液晶ディスプレイ部の位置を調整する事が出来ます。

使用する場所、場面に応じて適切な位置に調整してください。

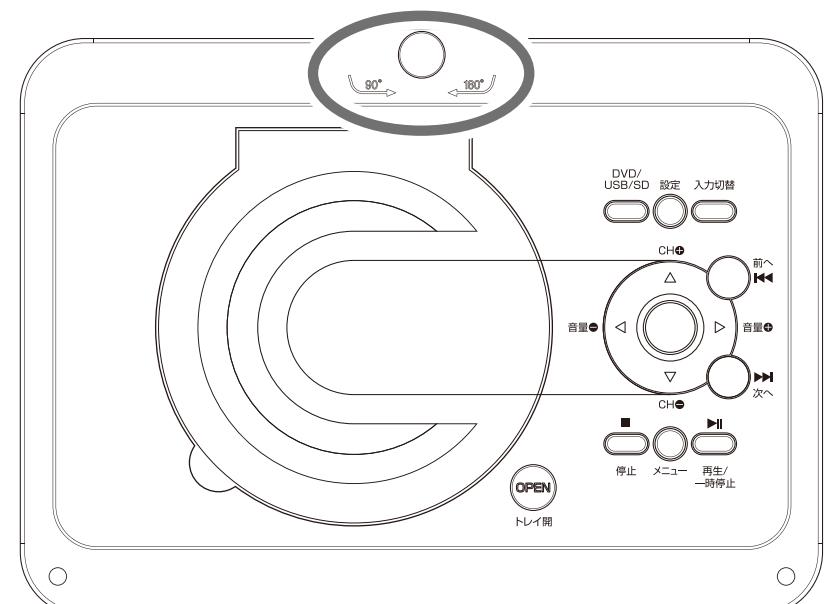
### ■角度の調整



本体下部を抑え、液晶ディスプレイ部をゆっくりと上に上げて開きます。【写真：①～③】  
開閉時最大可変範囲：180度【写真：④】

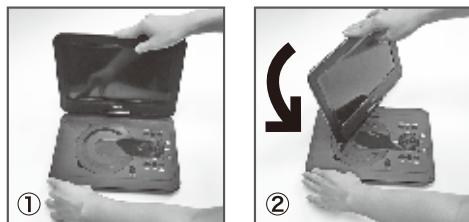
### ■回転時の最大可変範囲

液晶ディスプレイ部を左右に回転する際の最大可変範囲は本体操作部に刻印されています。



## ●液晶ディスプレイ部の位置調整

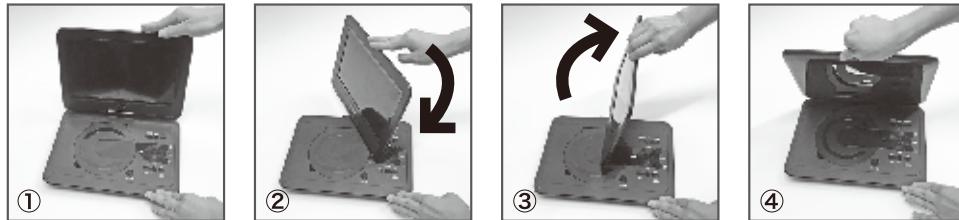
### ■右側への回転



本体下部を抑え、液晶ディスプレイ部をゆっくりと時計と反対回りの方向に回します。

【写真：①～②】 ※右回り時最大可変範囲：90度 【写真：③】

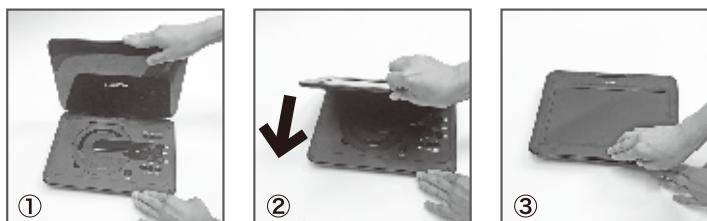
### ■左側への回転



本体下部を抑え、液晶ディスプレイ部をゆっくりと、時計回りの方向に回します。

【写真：①～③】 ※左回り時最大可変範囲：180度 【写真：④】

### ■折りたたみ



■左側への回転【写真：④】の状態で、本体下部を抑え、液晶ディスプレイ部をゆっくりと下げます。【写真：①～③】

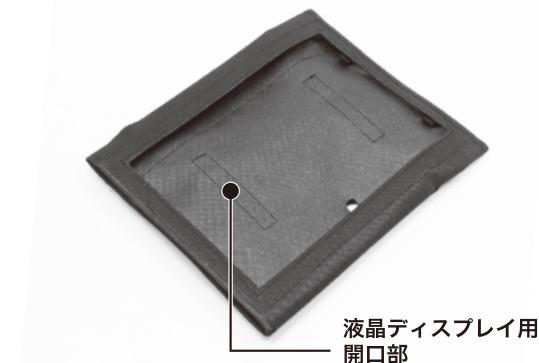
※回転／角度調整を行う際は、必ず各方向の最大可変範囲をお確かめください。  
最大可変範囲以上の方に動かすと、破損するおそれがあります。

## ●車載用ケースについて

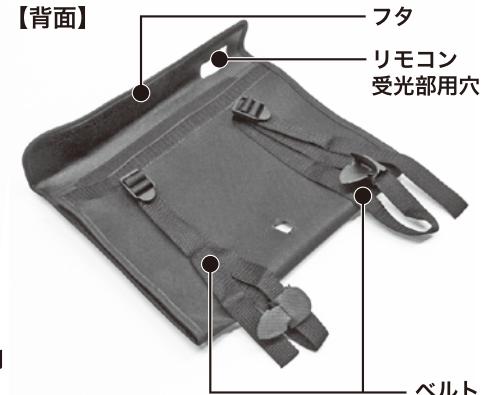
本機を付属の車載用ケースに収納し、自動車座席のヘッドレストに装着する事で、本体を手に持たずに視聴する事が出来ます。

### ■車載用ケースについて

#### 【全面】

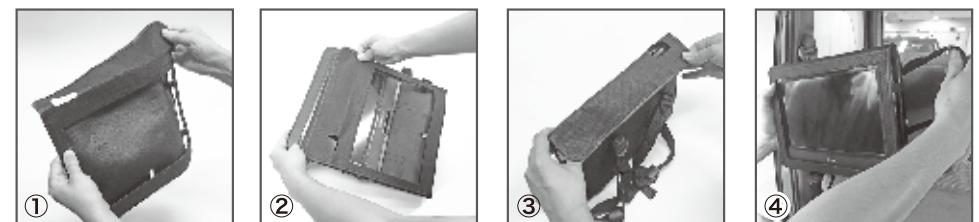


#### 【背面】



### ■車載用ケースの使い方

※本体はあらかじめ、上記「■折りたたみ【写真：③】」の状態にします。



①車載用ケースのフタを開けます。

②本体をスピーカーのある方から、車載用ケースに挿入します。

③車載用ケースのフタを閉じます。

④車載用ケース背面のベルトを片方づつ座席のヘッドレストに掛けます。

※操作の際は、リモコンをご使用ください。

#### 【装着イメージ】



※車種、ヘッドレストの形状によっては装着できない場合があります。

# ○故障かな?と思ったら

発売元にご相談になる前に、もう一度下記内容をご確認ください。  
ご不明な点がある時は、保証書にある発売元へお問い合わせください。

症 状	対処方法
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源プラグが抜けている ⇒電源プラグをコンセントへ差し込む</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各種コードが正しく接続されていない ⇒接続を確認する</li> </ul>
音声が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●音量が最少になっている ⇒本体側およびリモコンで音量を調整する</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●消音機能を使用している ⇒リモコンの消音ボタンで機能を解除する</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●イヤホンを差し込んでいる ⇒本機からイヤホンを抜く</li> </ul>
映像の映りが悪い	<ul style="list-style-type: none"> <li>●映像設定の調整が正しくない ⇒映像の調整を正しく行う</li> </ul>
画面に斑点が映る／ 画面に色の縞が出る、または 色が消える	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高圧線や自動車、ネオン、電気製品からの電波障害 が起きている。 ⇒電波の影響を受けない場所に本機を移動する</li> </ul>
リモコン操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リモコンの電池が消耗している ⇒電池を交換する</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リモコンの電池の極性が逆になっている ⇒電池のプラスマイナスを正しく入れる</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リモコンの電池が押え金具の上にセットされている ⇒電池を押え金具の下にセットする</li> </ul>
画面がまっ黒いままボタンに 反応しない	<p>初期画面のまま長い時間が続きますと自動的に電源が切れます。 使用開始の場合は再起動してください。また使用しない場合は本 体側面の主電源スイッチを“切”にしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●リモコンの「LCD」の「画面ON/OFF」ボタンを押すと画面は 真っ黒になります。 ⇒もう一度押すと通常に戻ります。 ⇒うまくいかない場合は再起動してください。</li> </ul>

発売元にご相談になる前に、もう一度下記内容をご確認ください。  
ご不明な点がある時は、保証書にある発売元へお問い合わせください。

症 状	対処方法
リモコン操作ができない 「○」と表示される	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リモコン信号が本体受光部に当たっていない可能性がありますので、 リモコンを正しく向けてください。</li> <li>●画面に「○」と表示される場合は、そのディスクでは操作できない操作 をしている可能性があります。</li> </ul>
DVDレコーダーで記録した DVD-Rディスクが再生できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ビデオモードまたはCPRM形式で録画したDVD-Rディスクを本機で 再生するには、ファイナライズ処理が必要です。</li> <li>●ディスク記録時の状況・環境により、再生できない場合があります。</li> <li>●録画されたDVDレコーダーとディスクと本機との相性により再生でき ない場合もあります。</li> <li>●パソコンにて録画されたディスク、DVDレコーダー以外の機器によって 作成されたディスク、短い収録時間のディスクでは再生できない場合が あります。</li> </ul>
ディスクの読み取りができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスクが入っているか確認してください。</li> <li>●ディスクが反対に入っていないか確認してください。</li> <li>●ディスクの地域番号(リージョンコード)が正しいか確認してください。</li> <li>●ディスクのフォーマットが違っていないか確認してください。</li> <li>●ディスクが損傷または汚れている可能性がありますので、ディスクを換 える、又はディスクをクリーニングしてください。</li> </ul>
再生中に電源が落ちる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2層式記録ディスクの再生折返し部分の仕様による場合があります。 電源が落ちたチャプターの次のチャプターから再生できる場合があ りますので、チャプター選択画面から指定して再生を続けてください。</li> </ul>
再生中、一時的に映像が止まる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●再生しているディスクにキズや汚れがある可能性があります。 映像が止まったチャプターの次のチャプターから再生できる場合があ りますので、チャプター選択画面から指定して再生を続けてください。</li> </ul>
CDが正しく再生されない CDの曲頭数秒が再生されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コピーガード付きCDの可能性があります。 ※本誌7ページ参照 コピーガード付きCDの再生は弊社では保証対象外です。</li> </ul>
選曲ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスク・USBメモリ・SDカードによっては、部分的に設定された再生 順序を変更できないものがあります。</li> </ul>

## ○故障かな?と思ったら

発売元にご相談になる前に、もう一度下記内容をご確認ください。  
ご不明な点がある時は、保証書にある発売元へお問い合わせください。

症 状	対処方法
CD/CD-R/DVD/DVD-R MP3ディスク/USBメモリ/ SDカードの 再生ができない、音が出ない、 雑音がある、音とびがする、 映像が正しく表示されない 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●システム接続が正しいか確認してください。</li> <li>●ディスクにキズがついていないか確認してください。</li> <li>●本機非対応の仕様のデータである可能性があります。 本書「メディア／ファイルについて」をご参照ください。</li> <li>●メーカー各種記録媒体との相性により、再生できない場合があります。お手数ですが記録媒体を変えてお試しください。</li> </ul>
デジタル放送が 受信できない/ 受信できないチャンネルがある/ 音声がでない/音声が途切れる/ 映像が止まる/ノイズが入る	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ご家庭のアンテナ端子とテレビケーブル、またはロッドアンテナが正しく接続されているか確認してください。接続に問題があった場合は正しく接続し、再度受信させてください。</li> <li>●周囲に電波をさえぎるものがあるか確認し、あった場合は電波の受信が安定する場所にロッドアンテナを移動してください。</li> <li>●ワンセグ放送受信地域内であるか確認してください。</li> <li>●ご使用の場所が、受信可能な放送局地域になっているか確認してください。</li> <li>●B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。</li> </ul>
視聴中の 映像／文字情報／ 番組内の時刻表示がズレる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●デジタル放送特有の現象です。デジタルデータの受信形式のため、受信してから映像化されるまでの時間差によって数秒ズレる場合があります。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>●特典ディスク等の特殊な再生機能が施されているディスクにおいては、再生できない場合があります。また、再生できても、キー・コマンド・選択等ができる場合や、リモコンや本体のボタン等が反応しない場合もあります。</li> <li>●各種症状にて故障と思った場合は、一度、本機の主電源スイッチを“切”にして放電してのち、再度電源を入れて各種解決方法をお試しください。</li> </ul>
読み込み中に電源が落ちて、 何の操作も反応しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本機主電源が入った待機状態での常設などで、本機に電気が帯電している可能性があります。本機の主電源を手動で切ったあと、電源コンセントを抜いて2~3時間放置して放電してください。 その後、再度本機を設置してお試しください。</li> </ul>

## ○主な仕様

本体寸法(閉じた状態／約)	幅：275 × 奥：200 × 高：42mm
本体質量(約)	950g
電源	①ACアダプタ：入力=AC100-240V 50/60Hz 出力=DC12V 1.2A ②車用アダプタ：DC12V ③充電池：7.4V 1.5Ah
消費電力(約)	14W
充電時間(約)	3.5 時間
連続再生時間(満充電時／約)	DVD モード：1.5 時間、CD モード：1.5 時間
ディスプレイ	サイズ：10.1 インチ 画面比：16：9（ワイド） 解像度：1024 × 600 RGB
入出力端子	SD カード USB AV 入力 AV 出力 イヤホン出力 アンテナ mini B-CAS カード
対応メディア	DVD、DVD+/-R、DVD+/-RW CD、CD-R、CD-RW SD/microSD/SDHC/microSDHC USB (2.0)
対応フォーマット	動画：MPEG 4、CPRM、DVD-VR、 DVD-Video、CD-G、Video CD 音声：MP3 画像：JPEG
スピーカー出力	2 W × 2 W

※商品の仕様および外観は、製品の性能改善等のため予告なく変更する場合がございます。